

## 経営健全化方針に基づく取組状況（令和 5 年度）

○法人名 有限会社 板馬養殖センター

○経営健全化方針を策定した理由

南城市・知念漁業協同組合・有限会社 日建商事の三者が出資し、令和元年度決算で146,914千円の債務超過に陥っているため。

○財政的リスクの状況

	令和 2 年度（第40期）	令和 3 年度（第41期）	令和 4 年度（第42期）	令和 5 年度（第43期）
	決算	決算	決算	決算
債務超過額（千円）	126,917	102,068	113,150	131,557

○主な取組状況

<p><b>【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】</b></p> <p>令和5年8月の台風被害により年末に出荷を見込んでいた車海老が全滅。さらに冷凍設備も故障し、販売予定だった冷凍エビの在庫が全て廃棄処分となった。</p> <p>今期は台風被害もなく、冷凍機械も再導入し、8月には車海老230万尾を池入。活・瞬間冷凍共に年末の出荷を強化する。また、海ぶどうについても安定的な生産を図り、売上を伸ばす。</p>
<p><b>【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】</b></p> <p>台風被害により車海老の販売量がここ数年で最悪な結果となり、市場車海老に関しては売上が全くない状況となっている。</p> <p>今期は台風による被害がないため、出荷時期の売上げに期待する。</p> <p>また、台風被害に関しては、特に越波による被害が以前からの懸案事項であり、対策を講ずるよう引続き県に要請していく。</p>

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(千円)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
資産総額	37,785	61,904	35,946	74,701
（うち現金預金）	16,406	29,816	5,673	46,009
（うち売上債権）	4,882	3,974	1,228	1,275
（うち棚卸資産）	6,822	10,366	9,588	1,476
負債総額	164,702	163,973	149,096	206,259
（うち南城市からの借入金）	0	0	0	0
純資産総額	△ 126,917	△ 102,069	△ 113,150	△ 131,558

(損益計算書から)

(千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	38,527	72,046	59,113	23,990
経常費用	54,042	64,626	73,039	52,007
経常損益	△ 15,515	7,418	△ 13,926	△ 28,017
経常外損益	9,192	17,608	3,024	9,789
法人税	180	180	180	180
当期純損益	△ 6,503	24,846	△ 11,082	△ 18,408